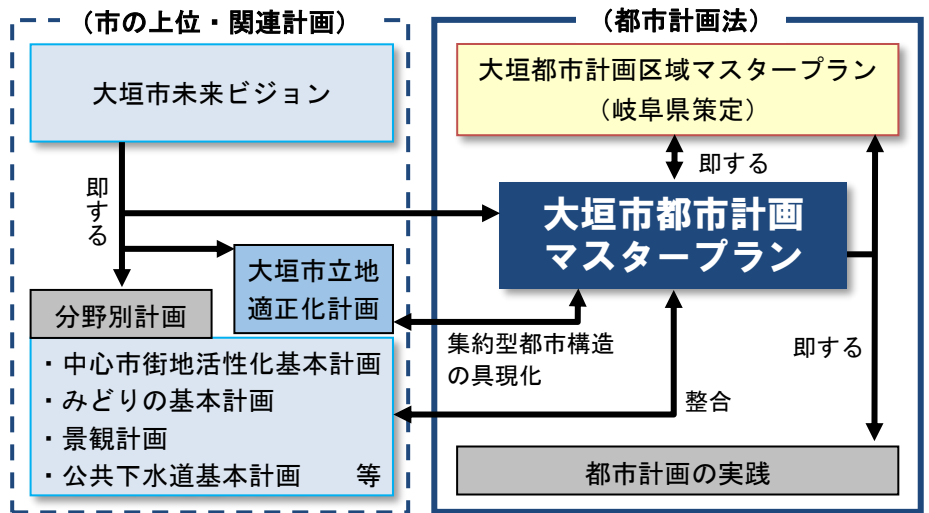


大垣市都市計画マスタープラン(素案) 概要版

都市計画マスタープランは都市計画法に基づいて市町村が定める計画で、大垣市の社会動向や国の動き等を勘案し、都市づくりの基本理念や土地利用、都市施設の整備に関する基本方針を明らかにすることにより、都市計画の総合的な指針としての役割を果たすものです。

▼ 計画の位置づけ

岐阜県が定める「大垣都市計画区域マスタープラン」、本市が定める「大垣市未来ビジョン」に即し、立地適正化計画や他の分野別計画との整合を図りながら、都市形成の基本的な方針や地域のまちづくりの方針を定めることで、各地域が連携し魅力ある都市を形成するための指針としての役割を担います。



▼ 計画区域

計画区域は大垣地域、墨俣地域とします。

▼ 目標年次

岐阜県が定める「大垣都市計画区域マスタープラン」の見直しが行われたことから、その20年後の令和22年を目標年次とします。

▼ 計画の構成

都市計画マスタープランは、本市の都市計画区域全体の目指すべき都市像とその実現のための主要課題、課題に対する整備方針等を示した「全体構想」と地域ごとの将来目標や地域整備の方針を示した「地域別構想」で構成されます。

全体構想

▼ 都市づくりの理念と目標

都市づくりの基本理念

大垣市特有の自然環境や
都市の姿を継承しつつ
西濃圏域の中心都市にふさわしい
にぎわいと活力にあふれ
安全で安心して暮らせる都市づくり

【都市づくりの目標】

- ① 大垣市特有の自然環境や景観を守り、その特徴を生かす都市づくり
- ② 都心の再生と産業集積の強化を図る都市づくり
- ③ 将来も安心して生活できる都市づくり

▼ 将来の都市構造

土地利用

市街地内と市街地外に区分し、計画的な土地利用誘導を図るとともに、戦略的に都市機能を拡充、整備する拠点ゾーンとして、都心再生ゾーン、産業誘導ゾーン、大垣西 IC 周辺土地利用推進ゾーン、商業・業務誘導ゾーンを設定します。

都心再生ゾーン	中心市街地については、土地の高度・有効活用を図るとともに、西濃圏域の中核的機能を担う都市にふさわしい風格と高次都市機能を備えた都心として再生します。
産業誘導ゾーン	名神高速道路大垣インターチェンジ周辺地区、ソフトピアジャパン周辺地区、既存工業施設周辺地区は、高度な先端産業、研究開発機能、教育研修機能、生産機能、物流機能等が集積する産業誘導ゾーンと位置づけ、周辺の環境と調和した地区として整備を進めます。
大垣西 IC 周辺土地利用推進ゾーン	広域的な交通アクセス優位性を生かし、「集客」、「産業誘導」、「多目的交流」をテーマとした拠点創出に向け、「道の駅」を核として、商業系、工業系、公園などの複合的な土地利用について一体的な整備推進を図ります。
商業・業務誘導ゾーン	国道 21 号及び国道 258 号の周辺地区は、道路整備や沿道整備とともに、地域産業の発展、地域住民の生活向上を支える沿道商業・サービス業等の誘導を図ります。

交通軸

高規格道路（高速道路等）及び都市内外の骨格道路となる主要な幹線道路網の形成を図ります。また、人の流動軸（公共交通軸）として鉄道路線網が形成されています。

継承すべき都市構造

自然環境軸として、河川及び輪中堤が都市構造上重要な要素です。また、中山道、美濃路の旧街道を歴史文化軸、大垣城周辺及び中山道赤坂宿周辺、美濃路墨俣宿周辺を歴史拠点と位置づけ、歴史的資源を活用した拠点形成を図ります。

将来都市構造図



▼ 都市整備の方針

土地利用の方針

土地利用の基本方針は、人口、世帯に関する動向、持続可能で活力ある地域社会の構築、環境への影響の抑制、安全で安心して暮らせる都市の構築等、地域社会を取り巻く状況を念頭に設定します。

- ① 集約型都市構造への転換
- ② 中心市街地の再生
- ③ 戦略的土地利用の推進
- ④ 安全で快適な市街地の形成
- ⑤ 適正な土地利用の誘導
- ⑥ 自然環境、営農環境との調和

都市施設整備の方針

[交通施設]

今後の交通施設整備は、集約型都市構造への転換とあわせ、環境負荷の低減、低炭素社会の実現、誰もが安全、快適かつ自由に移動することができる交通体系の実現を基本理念として進めます。

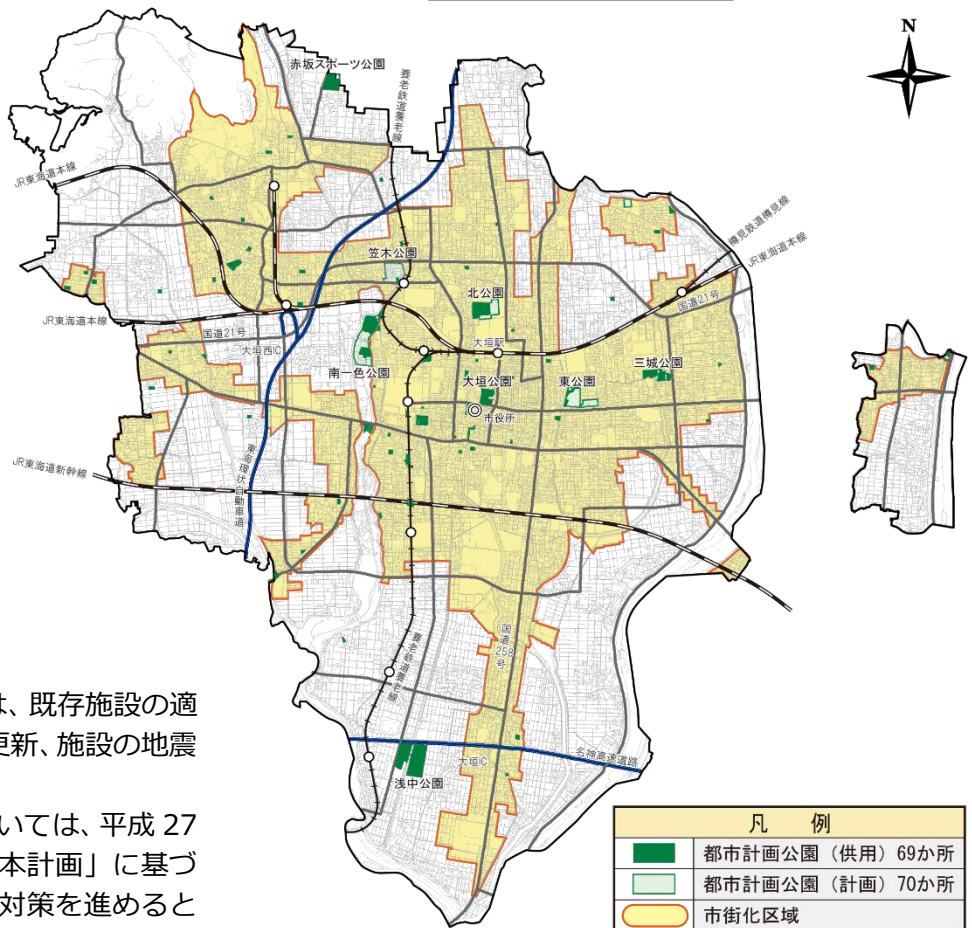
交通施設整備方針図



[公園・緑地]

今後は、市民協働等による緑地等の保全、整備のほか、都市計画公園の見直しを実施し、再整備、長寿命化、防災機能の充実などを中心に進めます。

都市公園整備状況図



[下水道及び河川]

公共下水道（汚水）においては、既存施設の適正維持、老朽化した施設の改築更新、施設の地震対策などを効率的に進めます。

一方、公共下水道（雨水）については、平成 27 年度に改定した「大垣市排水基本計画」に基づき、河川事業等と連携して内水対策を進めるとともに、継続的な治水安全度の向上・維持を目的とした整備を進めます。

都市化の進展を踏まえつつ必要とされる治水上の安全を確保し、自然的環境を踏まえた河川の整備を進めます。

[その他の都市施設]

円滑な都市活動を支え、都市生活者の利便性の向上を図り、良好な都市環境を確保するため、ごみ焼却場等の都市施設については、適正な規模等を検討のうえ配置します。

自然環境の保全及び都市環境形成の方針

「大垣市エコ水都環境プラン（大垣市第 3 次環境基本計画）」に定められた、本市の目指すべき望ましい環境像「ハリンコが泳ぎ、ホタルが舞う水都・大垣」を目標に、環境保全体制の推進をはじめ、地球温暖化防止・環境行動の促進、健全な水環境の促進、環境負荷への監視指導体制の充実、環境学習・環境教育の推進に努めます。

景観形成の方針

大垣市景観計画に基づき、次の 4 つの景観形成の目標のもと市民と行政が一体となって、景観形成の推進や特色ある景観の保全・活用に努めます。

目 標

- 水都大垣の水を生かした潤いのあるまち
- 市民が誇りを持てる大垣らしい顔のあるまち
- 大垣らしい多彩な情景に出会えるまち
- 市民協働の景観づくりによる愛着を持てるまち

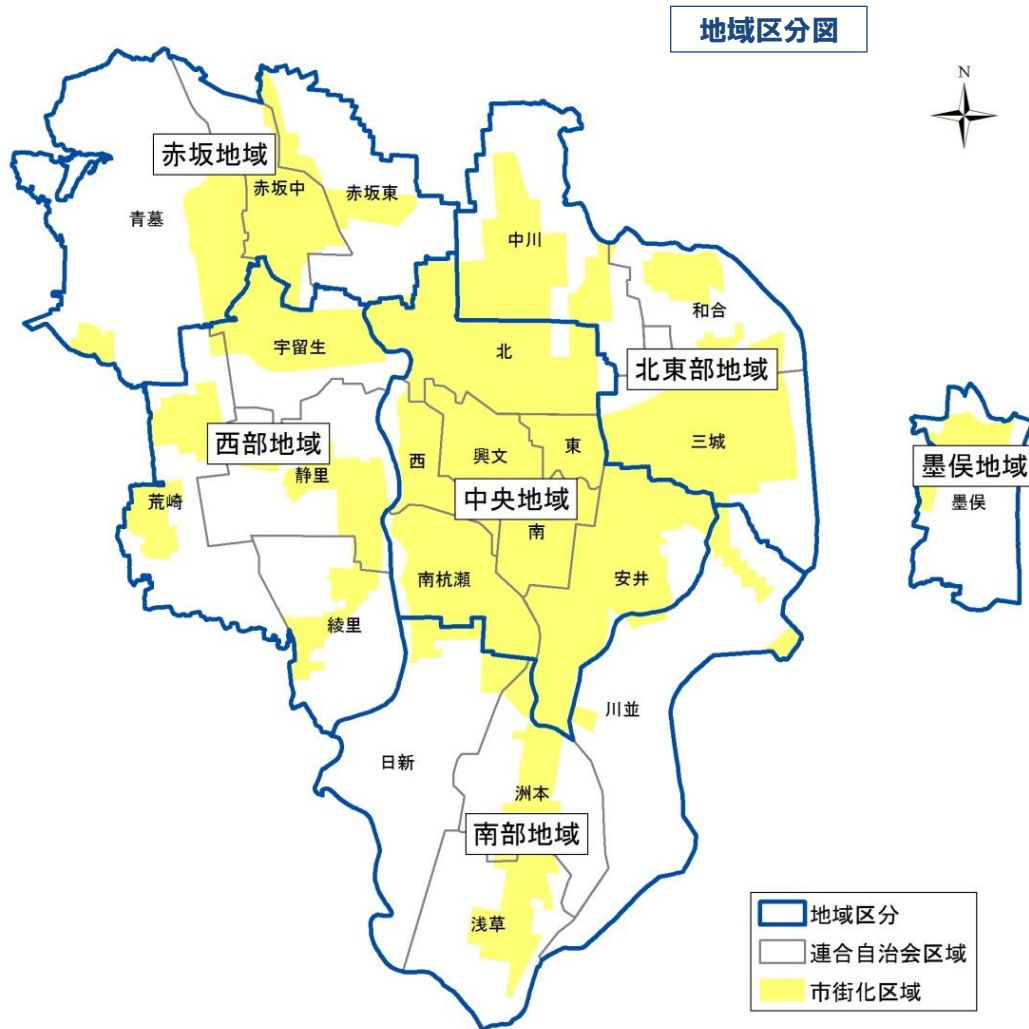
都市の防災・防犯の方針

市民の生命と財産を災害から守るとともに、災害時や有事に迅速な対応ができるように「大垣市地域防災計画」、「大垣市第 4 次防犯基本計画」等に基づき、危機管理体制の整備をはじめ、防災体制の充実、地域防災力の向上、地震対策の充実や防犯まちづくりに努めることにより、災害に強い都市の形成及び安心して暮らせる都市環境の形成を目指します。

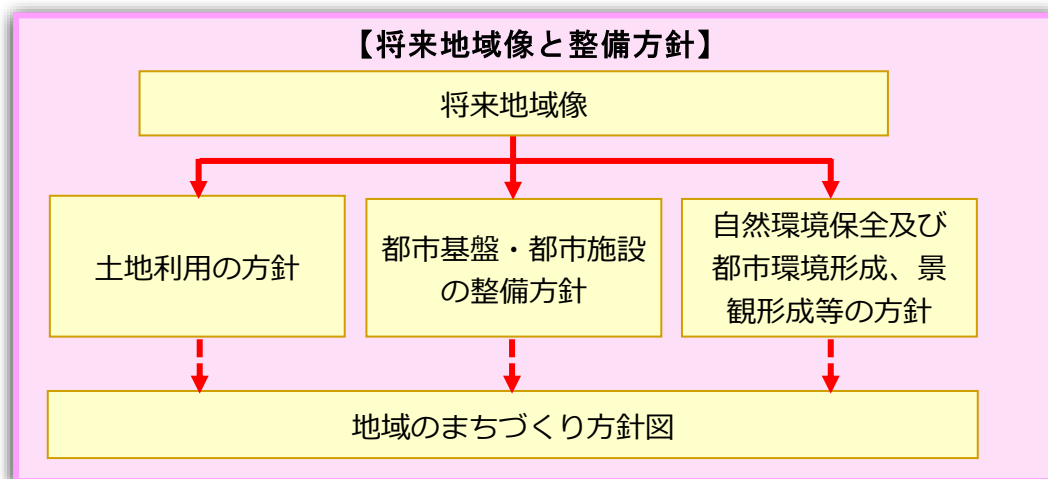
地域別構想

▼ 地域区分の設定

地域別構想を策定する地域区分は、地域のコミュニティである自治会を基本単位としつつ、都市機能の集積状況、地域的なまとまり、土地利用の状況等を勘案し、大垣地域を大きく中央部と周辺部に区分したうえで、周辺部を北東部、南部、西部、赤坂の4地域に区分し、墨俣地域とあわせ6区分として設定します。



▼ 地域別のまちづくり構想



中央地域の将来地域像

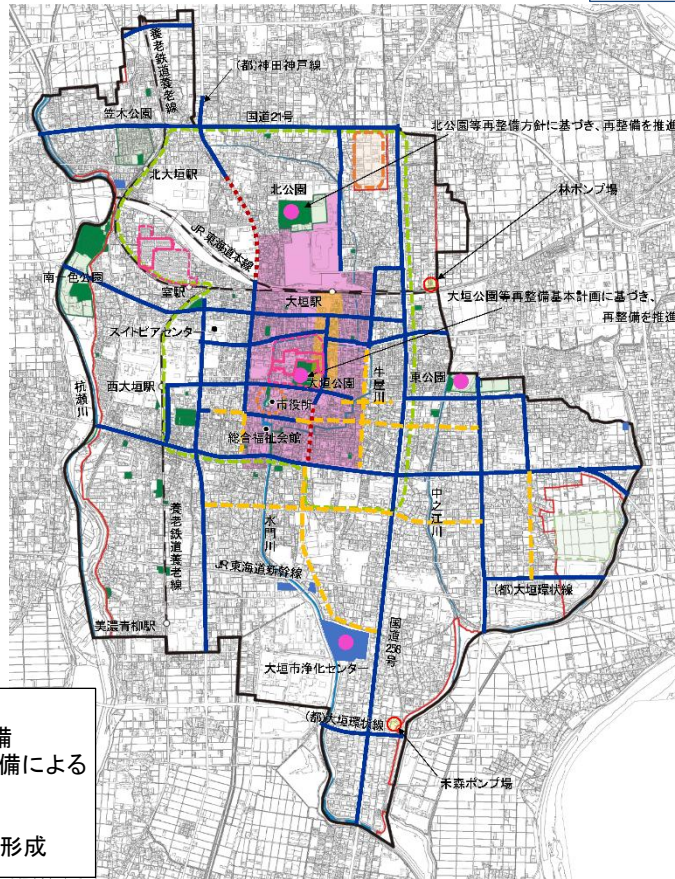
水都の歴史を継承する 美しい都心の再生により 生活・文化・産業の拠点を 育成する地域

水都にふさわしい景観等を保全・継承しながら、今後も大垣都市圏の生活・文化・産業の拠点として求心力を高めるため、都心再生を進めるとともに、周辺地域においても景観や都市機能が連続する一体的な地域づくりを進めます。

全般的方針

- ・道路整備水準の低い市街地における基盤整備
- ・河川事業等と連携した公共下水道（雨水）整備による浸水対策
- ・水門川流域整備計画に基づく流出抑制対策
- ・水辺や緑地の保全・活用による快適な環境の形成

中央地域のまちづくり方針図



凡例	
都市計画道路	整備済 概ね10年以内に整備を図る路線
都市計画公園	整備済 未整備
その他施設	整備済 未整備
地域界	
市街化区域	
河川・水面	
四季の里	
中心市街地活性化基本計画の区域	
景観形成重点地域検討地区	
緑化重点地区	
農用地区域	
基盤整備と一体的に適切な土地利用誘導を図る地区	
適正用途への見直し等を検討する地区	
市街地再開発事業の推進を図る地区	

北東部地域の将来地域像

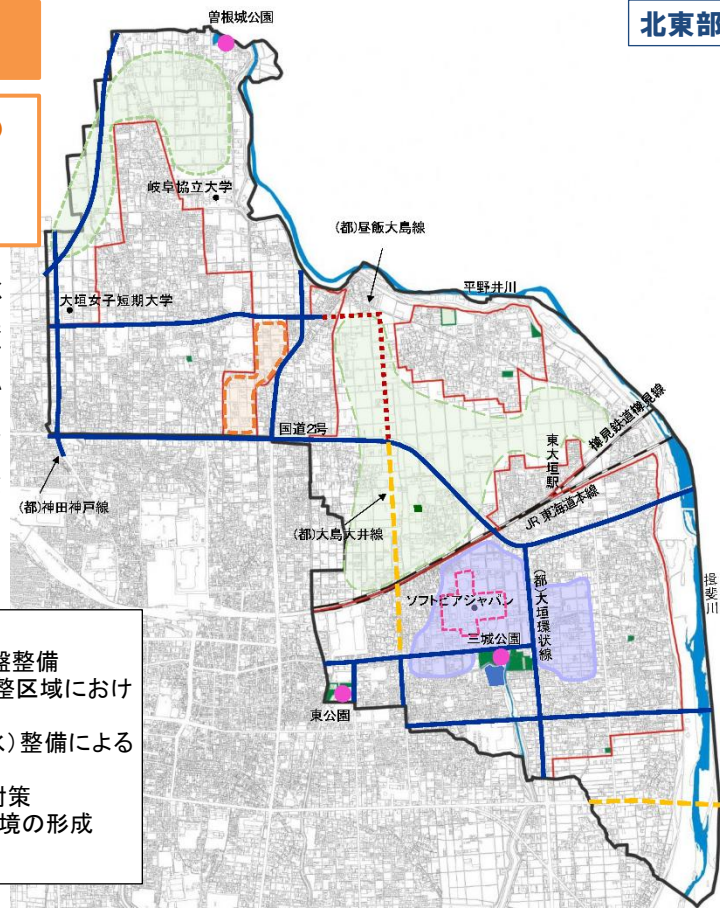
豊かな自然と共生しつつ 情報・文教環境を 育成する地域

豊かな自然を将来も保全・継承しながら、地域特性である情報産業拠点や文教環境を圏域の中心都市にふさわしい都市機能として更に発展させる地域づくりを進めます。

全般的方針

- ・道路整備水準の低い市街地における基盤整備
- ・更なる水環境の改善に向けた市街化調整区域における公共下水道（汚水）の効率的な整備
- ・河川事業等と連携した公共下水道（雨水）整備による浸水対策
- ・水門川流域整備計画に基づく流出抑制対策
- ・水辺や緑地の保全・活用による快適な環境の形成
- ・田園集落、農地の景観保全

北東部地域のまちづくり方針図



凡例	
都市計画道路	整備済 概ね10年以内に整備を図る路線
都市計画公園	整備済 未整備
その他施設	整備済
地域界	
市街化区域	
河川・水面	
四季の里	
ソフトピアジャパン周辺地区	
景観形成重点地域検討地区	
農用地区域	
基盤整備と一体的に適切な土地利用を図る地区	

南部地域の将来地域像

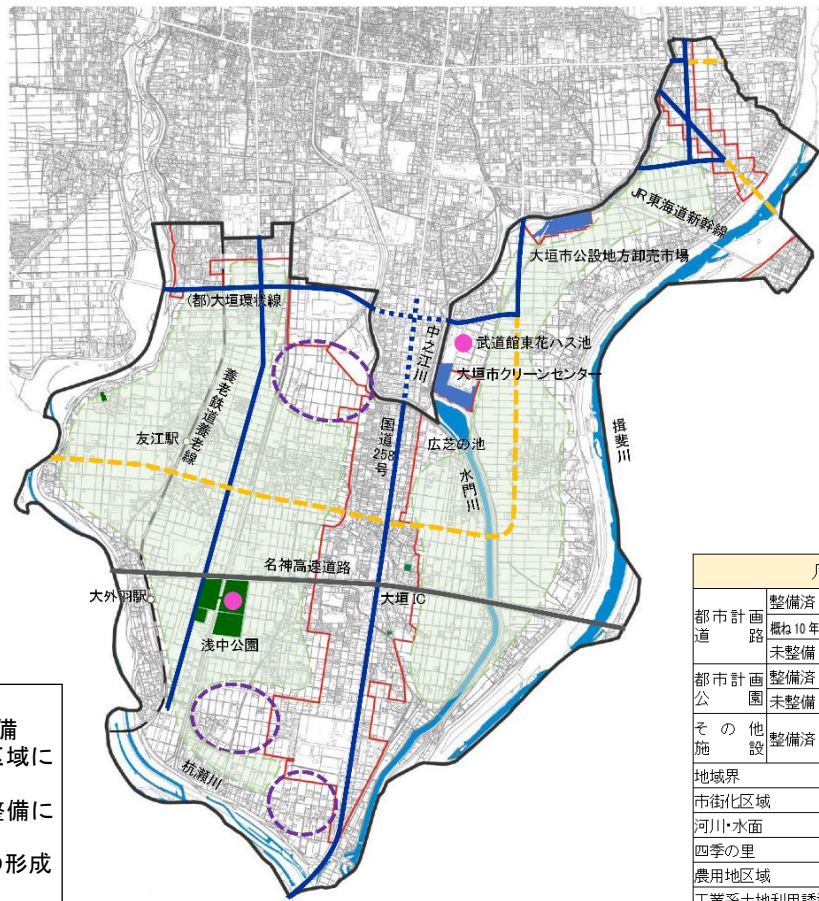
輪中文化を継承しつつ 広域交通の利便を生かした 産業を育成する地域

国道258号沿道一帯において産業誘導ゾーン、商業・業務誘導ゾーンとして機能の拡充を図るとともに、その周辺においては水害に対する防災性確保に努めながら、農地、水辺などの自然や集落環境を含めた輪中文化を保全・継承し、安全で快適な地域づくりを進めます。

全般的方針

- ・道路整備水準の低い市街地における基盤整備
- ・更なる水環境の改善に向けた市街化調整区域における公共下水道(汚水)の効率的な整備
- ・河川事業等と連携した公共下水道(雨水)整備による浸水対策
- ・水辺や緑地の保全・活用による快適な環境の形成
- ・田園集落、農地の景観保全

南部地域のまちづくり方針図



凡 例	
都市計画道路	整備済
	概ね10年以内に整備を図る路線
	未整備
都市計画公園	整備済
	未整備
その他施設	整備済
地域界	
市街化区域	
河川・水面	
四季の里	
農用地区域	
工業系土地利用誘導を図る地区	

西部地域の将来地域像

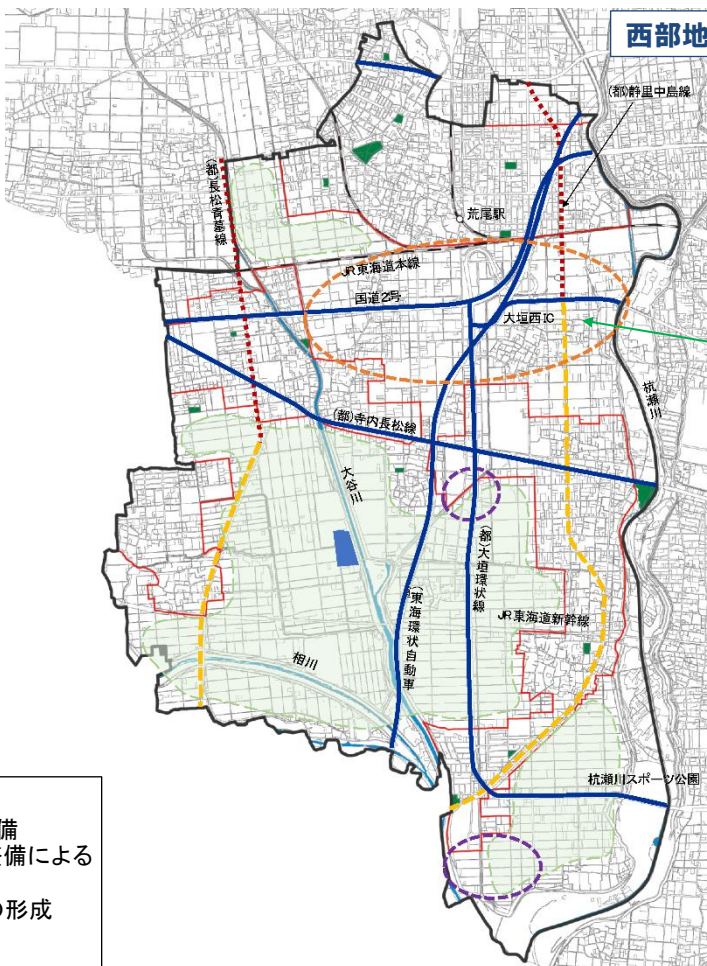
豊かな自然環境を 保全しつつ 広域交通の利便を生かした 新たな産業拠点を 形成する地域

大垣西インターチェンジ周辺においては複合的な土地利用を推進する地区として地域活性化を図るとともに、水害に対する防災性確保に努めながら、豊かな自然や輪中文化などを保全・継承し、安全で快適な地域づくりを進めます。

全般的方針

- ・道路整備水準の低い市街地における基盤整備
- ・河川事業等と連携した公共下水道(雨水)整備による浸水対策
- ・水辺や緑地の保全・活用による快適な環境の形成
- ・田園集落、農地の景観保全

西部地域のまちづくり方針図



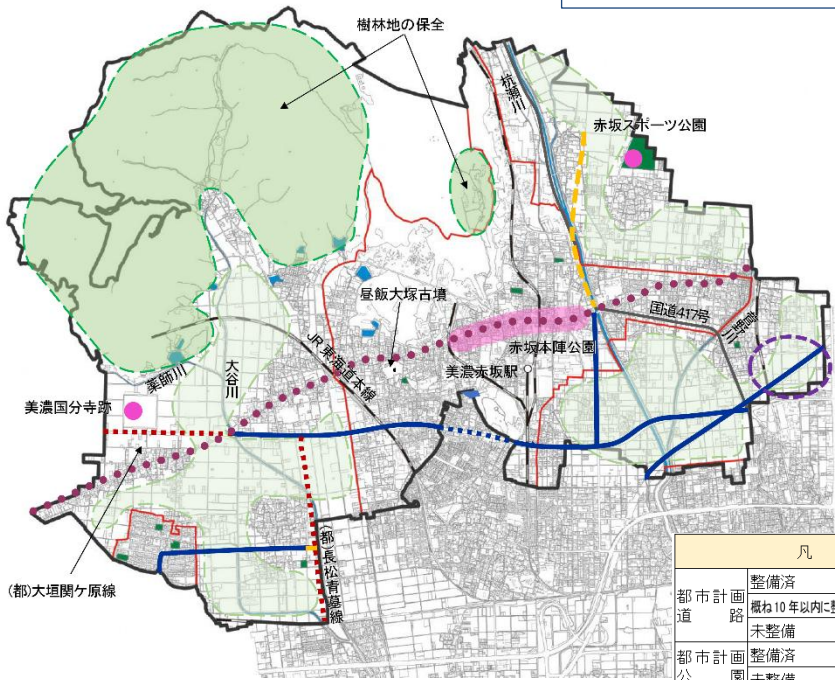
広域的な交通アクセス優位性を生かし、「集客」、「産業誘導」、「多目的交流」をテーマとした拠点創出に向け、「道の駅」を核として、商業系、工業系、公園などの複合的な土地利用について一体的な整備推進を図る地区

凡 例	
都市計画道路	整備済
	概ね10年以内に整備を図る路線
	未整備
都市計画公園	整備済
	未整備
その他施設	整備済
地域界	
市街化区域	
河川・水面	
農用地区域	
工業系土地利用誘導を図る地区	
大垣西 IC 周辺土地利用推進地区	

赤坂地域の将来地域像

豊かな歴史や自然と調和した質の高い居住環境を育成する地域

豊かな歴史や自然などを地域の魅力資源として保全・継承するとともに、居住機能や商業・業務機能の拡充を図り、徒歩や自転車等でも暮らしやすい生活環境の形成を目指します。



赤坂地域のまちづくり方針図

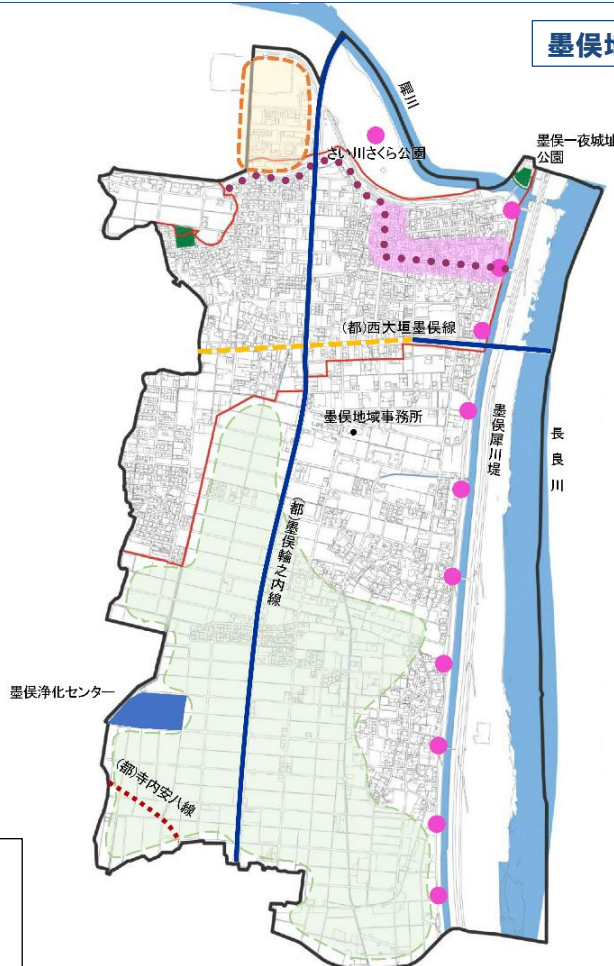
- 全般的方針**
- ・道路整備水準の低い市街地における基盤整備
 - ・更なる水環境の改善に向けた市街化調整区域における公共下水道(汚水)の効率的な整備
 - ・河川事業等と連携した公共下水道(雨水)整備による浸水対策
 - ・水辺や緑地の保全・活用による快適な環境の形成
 - ・田園集落、農地の景観保全

凡例	
都市計画道路	整備済
道路	概ね10年以内に整備を図る路線
	未整備
都市計画公園	整備済
	未整備
その他施設	整備済
地域界	
市街化区域	
河川・水面	
四季の里	
中山道	
中山道赤坂宿	
農用地区域	
工業系土地利用誘導を図る地区	

墨俣地域の将来地域像

豊かな歴史や自然と調和しつつ快適な生活空間を創造する地域

美濃路墨俣宿周辺では、豊かな歴史を地域の魅力資源として保全・継承するとともに、地域内での日常的な買い物や行政・福祉サービスの利便の向上等により、徒歩や自転車等でも生活しやすい快適な生活空間をめざした地域づくりを進めます。



墨俣地域のまちづくり方針図

- 全般的方針**
- ・道路整備水準の低い市街地における基盤整備
 - ・水辺や緑地の保全・活用による快適な環境の形成
 - ・田園集落、農地の景観保全

凡例	
都市計画道路	整備済
道路	概ね10年以内に整備を図る路線
	未整備
都市計画公園	整備済
	未整備
その他施設	整備済
地域界	
市街化区域	
河川・水面	
四季の里	
美濃路	
美濃路墨俣宿	
農用地区域	
良好な市街地の形成を図る地区	